

Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
TEL: 03-6202-5270(代表)
www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

MS&AD
INSURANCE GROUP

2013年1月30日

2012年度第3四半期（10月～12月）のトピックスをご案内します。

1. 2012年9月中間期 決算概況について

当社は、2012年11月19日に平成24年9月中間期における決算発表を行いました。正味収入保険料は、1兆3,404億円と前期比2.7%の大幅増収となりました。要因として、主力の自動車保険で2011年に実施した料率改定の効果が現れてきていることなどが挙げられます。一方、株式相場下落による有価証券評価損が発生したことから、中間純利益は前期比165億円の減益となりました。

(単位：億円)

	平成23年9月 中間期	平成24年9月 中間期	比較増減	増減率(%)
正味収入保険料	13,052	13,404	352	2.7
経常利益	92	66	▲25	▲27.3
中間(当期)純利益	71	▲94	▲165	▲232.2

2. 2012年10～12月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況(単純合算)

*速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第3四半期は主力の自動車保険や火災保険を含む全種目で増収し、一般計で2.5%の増収となりました。

(単位：百万円)

種目名	第3四半期(10～12月)		年度累計(4～12月)	
	収入保険料	増収率(%)	収入保険料	増収率(%)
自動車	303,106	1.0%	922,892	2.9%
自賠責	74,464	1.0%	229,337	2.3%
火災	113,138	8.6%	320,475	7.0%
傷害	51,804	1.3%	161,349	2.0%
新種	66,440	1.3%	228,004	0.8%
海上	23,239	3.7%	78,872	1.7%
一般計	632,189	2.5%	1,940,929	3.1%

3. 主なニュースリリース(2012年10月～12月) ※カッコ内はニュースリリースの日付

(1) MS&ADホールディングス

○～被災地復興支援～宮城県南三陸町で稲刈りボランティアを実施(10月11日)

当社は、10月13日・14日に、東日本大震災で津波被害を受けた宮城県本吉郡南三陸町の水田で稲刈りボランティアを行いました。本活動は、水田の再生、田植えや稲刈りを通じて、被災地の支援に長期的かつ安定的に関わっていくことを目指したものです。MS&ADインシュアランスグループでは、今後も、グループを挙げて被災地の復興支援を継続していきます。

○京都府南部豪雨・フィリピン洪水災害に対する義援金について(10月15日)

当社は、8月に京都府南部で発生した豪雨およびフィリピンにおける洪水により被害を受けた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募集し、2つの災害合計で、延べ3,486名の社員から約320万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額約640万円を被災地の地方自治体などへ寄贈しました。

○チャリティーカードで東北の子どもたちを支援（11月9日）

MS & ADインシュアランス グループの社会貢献団体「MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ」と特定非営利活動法人「子供地球基金」は、子どもたちの絵でチャリティーカードを作成・販売し、その販売収益金で世界各地の子どもたちを支援しています。2012年は絵柄の1つに宮城県亘理町の子どもが描いた作品を使用し、収益金は東日本大震災を経験した東北の子どもたちの支援に充てられます。

○米国ハリケーン「サンディ」の災害に対する義援金について（12月25日）

当社は、11月に発生したハリケーン「サンディ」により被害を受けられた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募集し、延べ2,426名の社員から約260万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額約520万円を日米の赤十字社へ寄贈しました。

(2) グループ各社

①国内事業

○事故対応サービスセンターの拡充・再編について（10月1日）

三井ダイレクト損保は、10月1日から、大阪に「安心センター大阪第四」を新設し、事故対応サービスセンター機能を再編しました。本再編により、事故担当者の専門性向上と効率性追求をさらに加速させ、全国的な事故対応力の向上を図ります。

○三井住友海上プライマリー生命 開業10周年（10月1日）

三井住友海上プライマリー生命は、10月に開業10周年を迎えました。2002年10月に銀行での個人年金保険窓販解禁と同時に事業をスタートして以来、順調に業容を拡大しています。少子高齢化の進展によって個人年金保険の果たす役割はますます高まっており、今後もお客さまのニーズにお応えする商品を開発し、お客さまから信頼される生命保険会社として、品質の向上に努めていきます。

○保険金等の請求者に対する連絡を拡充

～「ご請求サポートコール」「お支払クイックコール」を開始～（10月12日）

三井住友海上あいおい生命は、合併1周年を迎えた10月から、よりわかりやすいお支払手続きの実現を目的として、「ご請求サポートコール」「お支払いクイックコール」を開始しました。今回のサービス拡充により、様々な理由で請求書を提出できないお客さまや、できるだけ早く保険金・給付金の支払い金額や時期等を詳細に知りたいというお客さまのニーズにお応えし、より迅速かつ確実な手続きを実現します。

○「年金＋一時金」で、一生涯をサポートする介護保障商品

「終身介護保障特約（払込期間中無解約返戻金型）」を発売（10月17日）

三井住友海上あいおい生命は、2011年10月の合併後初めての新商品として、12月3日から同社初の本格的な介護保障商品である「終身介護保障特約（払込期間中無解約返戻金型）」を発売しました。お支払事由を公的介護保険制度に連動させることで「わかりやすさ」を、保険料払込期間中の解約返戻金をなくすことで「低廉な保険料」を実現しています。また、終身保険や医療保険に付加する特約としたため、ひとつの契約で「死亡保障＋介護保障」や「医療保障＋介護保障」などの必要な保障を合理的にご準備いただけるようになりました。

○事故対応サービス「全力サポート宣言」動画による案内を開始（10月19日）

あいおいニッセイ同和損保は、事故にあわれたお客さまにより一層の安心をお届けするため、2012年4月から事故対応サービス「全力サポート宣言」を掲げています。本活動についてより多くの皆さまにご理解いただけるよう、同社公式ホームページに「全力サポート宣言」を説明した動画を公開しました。また「全力サポート宣言」で宣言している“1時間以内のファーストコンタクト開始”や“専任担当者からの定期的な安心コール（経過報告）”の実施率も公開しました。

○～旅行のお役立ちツール～

Windows 8向け無料アプリ「旅程スクラップブック」の提供を開始（10月25日）

三井住友海上は、Windows 8向けの無料アプリ「旅程スクラップブック」を開発し、10月26日から提供を開始しました。「旅程スクラップブック」は旅行に役立つあらゆる情報をスクラップし、旅程に合わせて自由に閲覧・編集できるアプリです。WebページのURLや撮影した写真、地図アプリの位置情報を取り込む機能を搭載しており、オリジナルの旅のしおりを簡単に作成することができます。

○タブレット端末を利用した火災保険契約手続きの新システムを開発（10月31日）

三井住友海上と大和ハウス工業および大和ハウスインシュアランスは、住宅業界初となるタブレット端末を利用した住宅購入者向けの火災保険契約手続きシステムを共同開発し、11月1日から募集を開始しました。本システムは、大和ハウス工業の営業用タブレット端末向けに開発したもので、お客さまへの補償内容の説明や契約締結手続きをタブレット端末の画面上で完結することができます。

○企業向けリスク管理ソフト「マイカー通勤管理」の提供を開始（11月29日）

三井住友海上は、11月29日から、企業のお客さま向けリスク管理ソフト「マイカー通勤管理」の提供を開始しました。企業の管理業務担当者が行う従業員のマイカー通勤管理業務をサポートするもので、あらかじめ入力した従業員の免許証やマイカーの自動車保険などの情報から、免許証の有効期限切れや保険の付保漏れなどのリスク情報を簡単に抽出することができます。また、マイカー通勤許可証などの定型帳票や企業独自帳票を印刷する便利な機能も有しています。

○不動産情報交流会を全国で開催（12月5日）

あいおいニッセイ同和損保は、全国各地で不動産情報交流会を開催しました。本交流会は、出店のための不動産情報を求める多店舗展開企業と、不動産情報を持つ地元の建設・不動産会社の出会いの場を提供し、参加企業各社のビジネスを応援するもので、2008年から実施しています。今年度から開催地域を拡大し、全国11ヶ所で展開しており、多くの企業に参加いただき好評を得ました。

②リスク関連事業

○ISO39001（道路交通安全マネジメントシステム）の正式認証を取得（10月26日）

インターリスク総研は、10月26日付けでコンサルティング会社として世界初となる「ISO39001（道路交通安全マネジメントシステム）」の正式認証を取得しました。今後は、本規格の取得を通じて蓄積したノウハウを活かし、お客さま向けのセミナーや各種媒体を通じた情報発信等による「ISO39001」の普及・啓発活動を大きく展開するとともに、「交通事故削減に効果的なマネジメントシステムの構築手法」等のコンサルティングメニューを提供する予定です。

③環境・社会貢献活動・スポーツ

○三井住友海上文化財団2013年度「地域住民のためのコンサート」公募開始（10月12日）

三井住友海上文化財団は、2013年度「地域住民のためのコンサート」を共同主催する市町村の公募を開始しました。本コンサートは、地域における文化振興を目的に、同財団が各地の公立文化ホールに国内の著名な演奏家や新進気鋭のアーティストを派遣し、自治体と共同で開催するクラシックコンサートで、2012年度末までの累計開催回数は651回にのぼります。財団設立25周年にあたる2013年度は、全国30カ所での開催を予定しています。

○三井住友海上福祉財団

2012年度「研究助成」および「三井住友海上福祉財団賞」を決定（11月5日）

三井住友海上福祉財団は、2012年度の研究助成として応募総数178件のうち32件、海外における研究助成として35件のうち8件に対して助成を決定しました。また、優れた著作・論文に贈呈する「三井住友海上福祉財団賞」として、著作1点ならびに論文1点も同日表彰しました。

○本社ビルでフェアトレード商品等の販売会を開催（12月6日）

三井住友海上プライマリー生命は、12月6日に本社（東京・八重洲）で、フェアトレード商品と東北の復興支援を目的とした名産品等の販売会を開催し、当日はグループ会社からも多くの社員が参加しました。なお、販売会の売上は、今後、社会貢献活動に活かされます。

○三井住友海上ヨット部

・「全日本シーホース級ヨット選手権」（10月13日～14日）

神奈川県・葉山沖で行われた「第58回全日本シーホース級ヨット選手権大会」に三井住友海上のヨット部が出場し8連覇を達成しました。また、同時開催された「第49回全日本シーホース級ヨット女子選手権大会」においても同社ヨット部が2連覇しました。

○三井住友海上女子柔道部

・「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」（11月10日～11日）

千葉県・千葉ポートアリーナで開催された「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」に7名の選手が出場し、阿部香菜選手（63kg級）が優勝、山岸絵美選手（48kg級）、新井千鶴選手（70kg級）、吉村静織選手（78kg級）が3位に入賞しました。

・「2012グランドスラム・東京」（11月30日～12月1日）

東京都・国立代々木競技場第一体育館で開催された「2012グランドスラム・東京」に山岸絵美選手（48kg級）、阿部香菜選手（63kg級）が日本代表として出場し、阿部香菜選手が準優勝、山岸絵美選手が5位に入賞しました。

・ミャンマー女子柔道ナショナルチームとの合同合宿を実施（12月21日）

1月8日から約1ヶ月間、ミャンマー女子柔道ナショナルチームとの合同合宿を実施しています。今回の合宿は、日本政府が2012年6月に派遣した「ミャンマー文化・スポーツ交流ミッション」の提言に基づいて、官民一体で取り組む文化・スポーツ交流活動を支援することを目的としており、同国柔道選手との個別実業団チームによる合同合宿は初めてです。

④その他

○安全運転アプリ「スマ保」テレビCMを放映

～堀北真希さんとウィーン少年合唱団がコラボレーション！～（10月3日）

三井住友海上は、10月3日から全国で安全運転アプリ「スマ保」のテレビCMを放映しました。今回のCMは、8月のダウンロード開始から2ヵ月間で5万件を超えるダウンロード件数を記録している安全運転アプリ「スマ保」を紹介するものです。同社イメージキャラクターの堀北真希さんと、企業CMでは本邦初出演となるウィーン少年合唱団がコラボレーションし、「トリッチ・トラッチ・ポルカ」の楽曲を「スマ保の唄」に変え、歌い上げています。

○～当社所属スポーツ選手起用～

「挑戦」をテーマとした新企業CM 第2弾が完成（11月29日）

三井住友海上は女子柔道部と陸上競技部に所属する選手を起用した新テレビCMを制作し、11月30日から放映を開始しました。同社所属スポーツ選手のひたむきな姿を通じて「挑戦」を続ける企業姿勢を伝えます。撮影では、クレーンや高速カメラカー等を駆使し、真剣に練習に取り組む選手たちの表情や眼差しを息遣いが聞こえるほどの至近距離で撮影しました。またハイスピードカメラによるスロー映像を使用し、躍動感溢れる映像となっています。

以上